

地域と公民館をつなぐふれあい広場 2013・春

つるみね

公民館だより NO.85 開館30周年記念号

編集・発行 茅ヶ崎市立鶴嶺公民館 茅ヶ崎市萩園 2028-55

TEL/FAX 0467-87-1103 メール/kou_tsurumine@city.chigasaki.kanagawa.jp

暦の上は春なのに、まだまだ厳しい寒さが続きますね～。とは言っても、春は近いですよ。春を探しに行きませんか？ いつもより少しだけ暖かな出立ちで、太陽の日差しを浴びながら、小出川の土手など散策してみましよう。空気は冷たいけれど、心がホッと和むような、そんな『つるみね』に出会えることでしょう。散策途中の休憩には、ぜひ公民館をご利用ください。 **館長／長島 滋**



ベテランの指導でしめ縄作り。

皆で仲良くお餅つき。



皆さんの笑顔が公民館パワーの源です。

平成24年12月20日、「萩園青友会」と「萩園笑寿会」の皆さんのご協力で、年末恒例の、餅つき・しめ縄作りが行われました。餅米を蒸す新用カマドが煙を上げ、餅つきが行われるなか、公園には朝から大勢の人がつめかけ、あんころ餅やきなこ餅を食べたり、若いお父さんたちは餅つきに参加したりして楽しんでいました。午後からのしめ縄作りでは、講師のていねいな指導のもと、初参加者も立派なしめ縄を完成させていました。

主な記事

2～3面・地域とともに30年 公民館で見つけよう『仲間・友だち・大きな輪』

『第31回公民館まつり』見どころガイド

《サークル活動ルポ》こどもの広場・遊々クラブ

4～5面・みんなで考えましょう！公民館のこと…野島正也先生の開館30周年記念講演に学ぶ

6～7面・あなたの参加をお待ちしています！春の主催事業

『嬉多國』第52回郷土民謡民舞全国大会で見事初優勝！／公運審・利用懇だより

8面・公民館のマスコットキャラクター決定！／原稿募集／モニター募集ほか



第31回 3/1(金)・2(土)・3(日)

公民館まつり ガイド

お楽しみ企画満載!!
あなたも参加してね

*「まつり」の写真は、昨年撮影したものです。



↑リコーダー演奏で幕開け。

まつりは、鶴嶺小4年生による歌とリコーダー演奏でスタート。場所は玄関前を予定しています。

オープニング

11時

第31回鶴嶺公民館まつりは、「地域とともに30年 公民館で見つけよう『仲間・友だち・大きな輪』」をテーマに、3月1日(金)から3日(日)まで開かれます。まつりは、公民館で活動するサークルの発表の場であり、地域の皆様の交流の場でもあります。ぜひお出かけください。それでは、早速ご案内させていただきます。

茅ヶ崎高校OBの合唱団



おいしくて評判の水飴。

3日午後、同じく講義室の「芸能大会」では、詩吟・舞踊・三味線・和太鼓などがご覧になれます。また2日、3日の2日間、今宿小と浜之郷小の児童がロビーで水飴(みずあめ)の販売を行います。

講義室・ロビー



↑子育てサークルによる飾り付け。いやされますね〜。

館内
玄関の柱は、「淡彩ちがさき」の会員の方の作品です。子育てサークルによる、館内飾り付けが今年もありません。絵や書、養護学校の生徒の作品なども期間内展示されます。お楽しみに!

煙がいっぱい! お芋焼き。



野外で火を扱うことは、学校でもほとんどなく良い体験になったと思います。

11月17日(土)、柳島キャンプ場で「子どもの広場」の『秋の野外で遊ぼう』が実施され、5歳から小学生までの親子28名が参加しました。あいにく途中から雨が降り出しましたが、松林で集めた松葉を使って、火をおこして芋を焼いたり、拾った松ぼっくりを使ってクリスマスリースを作ったりして、みんな元気に楽しく遊びました。

秋の野外で遊ぼう

秋〜冬 公民館主催事業ルポ①

第31回

つるみね
公民館 祭り

地域とともに
30年

3月
1日(金)
2日(土)
3日(日)

公民館で見つけよう
仲間・友だち
大きな輪



会場 茅ヶ崎市立鶴嶺公民館
主催 鶴嶺公民館まつり実行委員会
茅ヶ崎市民会館2028-55
TEL 87-1103

↑八木沢広美さん(パソコンやまいもの会)の作品。

萩園第3公園

最終日の3日には、毎回好評の13団体参加による模擬店が開かれます。館内で販売するサークルもあります。どうぞ、お楽しみください。



毎年大盛況の模擬店。今年もお天気になるように……。



←鶴嶺中学校・美術部 生徒さんの作品。



こちらも注目!

サークル紹介

今回は久々に、まつりにサークル(のぼり)が復活します。大盛り上がり間違いなしのまつり会場にご期待ください。

さらにさらに! まつり会場でのサークル紹介を充実させます。みなさん、こちらにも是非注目くださいね!

実行委員会企画

3日 15時~
今回の実行委員会企画は、『地震・津波 その時、鶴嶺地区はどうなる』と題して、市の防災対策課長を招いて、鶴嶺地区の実情に即した防災対策を解説していただきます。昨年の『3・11 何が起ったか』に続く、防災講座のパート2です。多くの方々のご参加をお待ちしています。



↑昨年の『3・11 何が…』では、大勢に皆さんが熱心に聴講されました。

みんなで踊ろう!

2日 午後
K's street dance

公民館まつり初登場のヒップホップダンスのサークル。夏の子どもフェスティバルで大好評を博し、まつりにも参上!

フィナーレ

3日 16時~
講義室にて「みんなで歌おう、みんなで踊ろう」でまつりのフィナーレを迎えます。

バザー用品提供のお願い

今回も玄関前の駐輪場スペースでバザー(2日、3日 9時30分~正午)を開きます。

皆さまからのバザー用品のご提供をお願いします。未使用の日用雑貨(タオル、洗剤、食器など)、汚れていないおもちゃ、賞味期限内の調味料・乾物類・嗜好品などを受け付けます。

2月23日(土)までに、公民館事務室にお持ちください。皆様のご理解・ご協力をお願いします。昨年3月のバザーでは、58,700円の売り上げがありました。

←友廣やヨイさん(仲間づくり) かよう会 の作品。



秋〜冬 公民館主催事業ルポ②

遊々クラブ

消しゴムハンコで年賀状



↑「鶴嶺篆刻会」のみなさんのおかげで楽しく完成させることができました。

12月8日(土)に「遊々クラブ」の『消しゴムハンコで年賀状』が公民館利用サークル「鶴嶺篆刻会」の協力で、26名が参加。ほとんどの方が消しゴムハンコは初めてとあって、カッターナイフを握って、真剣なまなざしで悪戦苦闘していました。

それでも、篆刻会のみなさんのていねいで親切的な指導のもと、参加者の方々全員、時間内に消しゴムハンコが完成し、「こんなにむずかしいとは思わなかった」という意見もありましたが、「大変おもしろく夢中で1時間が過ぎました」「基礎を学び大変参考になりました」「自宅で難しい字体に挑戦するつもりです」「スーとゴムが切れ抜けたときは気持ちよかった」「できてよかった」「大変楽しかった」と好評でした。

みんなでも考えましよう！ 公民館のいじり

野島正也先生の『公民館開館30周年記念講演』

地域と公民館について……過去、そして未来に学ぶ

私は社会教育を専門にして36年になります。こういう領域は研究室にこもって本ばかり読んでいてもわかりません。実際に公民館に行つて、サークルや公民館まつりを見せていただいて、積み上げていくことをやってきました。今日は非常に大きなテーマをいただきました。『公民館の過去と未来』—これは、「先はむずかしいですね」といったら話になりません。(笑)どうやったら明るい未来になるのか、何を気にしていけばいいのかが、今日のテーマになると思います。

公民館はどんなところ？

ひとつは学級・講座といわれるものです。公民館が中心になって企画し、家庭教育講座、成人教室、高齢者学級など、色々な人たちがそこで「学び直し」をし、新しい知識を学ぶところです。

明治・大正の頃は、『通俗教育』といっていて、暮しに通じる、実際の生活に役立つことを学ぶという意味で、今の『社会教育』にあたります。学んだことを暮らした中で役立ていく、これが社会教育の大事なところなんです。

ふたつめはサークル活動です。サークル活動は指導者の先生がいらっしゃることが多い

ですが、基本的には周りの人たちが教えてくれたりしてやっていかないとうまくいきません。「よく知っている人」は良き指導者です。『見て学び、やって学び、教えて学ぶ』というのがサークル活動の基本なのです。

サークル活動には、様々な形がありますが、悪い例もあります。ここではありませんよ。みんな他の公民館のことです。(笑)

指導者の方が色々と言って、サークルの運営がうまくいかなかったり、指導者と会員の間立つリーダーの会長さんが、大変な思いをしていたり、こういったケースはたくさんあります。昔は和気藹々(わきあいあい)とやっていたかもしれませんが、時代は変わってきているのです。今一番大事なのは会員の方々であつて指導者ではないのですね。

もうひとつは『公民館の私塾化』というのがあります。家でお稽古事で教えていけばいいのに、そこでは大変だから公民館で教えましょう、一人3000円集めます、というのは基本的には違うのではないかと、やはりサークルのことは、サークルの中で決めていくことが基本です。

また、年に1回でいいから、みんなが集まつてどういう会にしたいのか、本当のことを話し合つてリトリートして、繰り返し悪いこと

《野島 正也先生》文教大学副学長、文部科学省統計分析アドバイザー、国立教育政策研究所客員研究員、財団法人社会教育連合評議員。『現代公民館全書』(共編著・東京書籍)他著書多数。

るを直していかないと、サークルはどんどんだめになります。『リトリート』とは「見直し」「退却」という意味で、いったん戻つて態勢を整える、ということなんです。

また、サークルが長続きする秘訣は会長さんだけが仕事をするのではなくて、小分けにしてみんなでやる、できれば役員は、前役・本役・後役に分けた方が世代交代はスムーズにいけます。

3つ目は、公民館まつり等のイベントです。サークル活動していても社会に還元できてない、と思われているかもしれません。公民館で学んだことをまつりで発表、出品するということが、これが社会還元なのです。

40年程前から『3割社会教育』という言葉があります。地域の人で、年に1度でも公民館にきたことのある人は全体の3割程度にすぎない、ということですが、来たことのない人たちにも来てほしい、見てほしいということが公民館まつりでは大切です。まつりの時に、親しい人ばかりに話しかける、内輪で盛り上が





時にユーモアを交えながら、野島先生はわかりやすく講演してくださいました。(H24/11/25 講義室)

活動は楽しくなければ続かない

新しいことに接する楽しさ、人と交わる楽しさ、人に認められる楽しさ、こういった**楽しさがなければ公民館活動は続きません**。サークルで会計などの役をして、「会がなりたつのはあなたのおかげよ」と認められると、自分に自信ができて、まわりからも信頼されます。どんなことでも声にだして「がんばってもらったよ良かった」「ありがとう」と声をかける、これが大切です。

活動で培った社会力を生かす

- ▼インストラクター(指導者)として 学んだ経験を教える。
- ▼プランナー(立案者)として、魅力ある活動の企画や提案をする。
- ▼コーディネーター(調整者)として、地域のひとやモノを生かすために、結び・つなぎの役をする。
- ▼アドバイザー(助言者)として 必要な時や求めに応じて適切な助言をする。
- ▼ファシリテーター(促進者)として 人やグループを元気に、やる気にする。
- ▼カウンセラー(相談員)として 人の悩みを聴き、人の気持ちにより添う。

公民館活動をしていると、ご自身ではわからないうちに右に挙げたような**社会力**がつかえます。全部というのは無理ですが、こういった6つの役割の、何が自分ができそうなのかを見きわめ、**今後の活動に役立て、生かすこと**を是非考えていただきたいと思えます。

また、福祉センターなどのちぎり絵、俳句、生け花などの講座を教えるボランティアとして、さらに学校教育の場でもサークルの人たちの力は期待されています。公民館活動にとどめず、**地域に関わる活動**にも目を向けていただければと思います。

これからの地域と公民館

「しあわせ」という言葉は辞書によると「仕合わせ」が本来の字でした。農家が田植えの時、収穫の時に他人と一緒に力を合わせる、その後みんなでお祭りをするように、仕事を



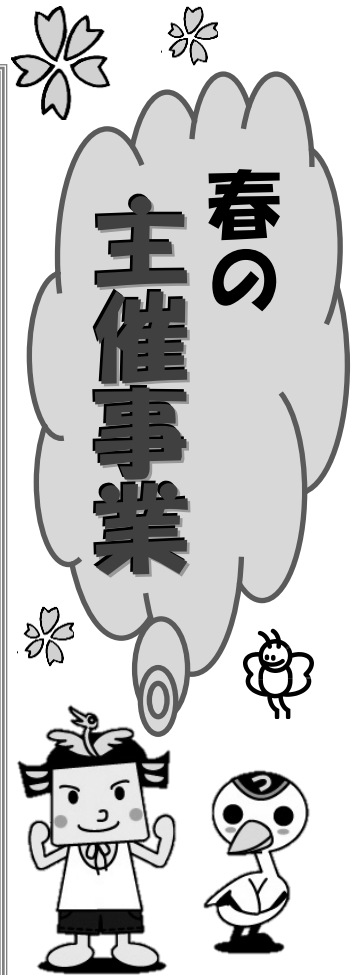
講演終了後、野島先生を囲んでの質疑応答の時間が設けられ、活発な意見交換が行われました。

合わせ、しあわせを分かち合う、ということ。今は個人個人それぞれになりつつある時代ですが、そうではなくて、**人と話をする、一緒に何かをやって、お互いに仕合わせになっ**ていくということを考えないとバラバラになってしまいます。

これは日本だけのことではなくてアメリカの有名な社会学者の本に『孤独なボウリング』というのがあります。本来皆で楽しむべきボウリングをアメリカでも一人で行く人がいる、というのは地域の中で人がバラバラになっていることを象徴しています。

* * *

公民館の役割は、**学びを通じて、活動を通じて、皆と一緒に喜ぶを分かち合う**——公民館をそういう場にしていくことが重要だと思えます。どうか地域の人を誘って、公民館という場で、共に学び、集っていく、そういう場にしていただきたいと思います。



春の主催事業

遊々クラブ

㊦ つるみね歴史散策と花見
 4月6日(土) 9:30~11:30
 定員 20名
 集合場所 鶴嶺公民館
 申込み 3月2日(土)
 費用 100円
 ←昨年度は、「小出川散策」で楽しいひと時を過ごしました。

㊧ マイクロバスで行く

花菜ガーデンと古墳公園
 5月15日(水) 9:30~15:00
 定員 20名
 申込み 4月6日(土)



→昨年度のマイクロバスの旅は、「鎌倉散策」…お天気にも恵まれました。

新事業

音楽を聴きながら

ストレッツチ講座

4月9日、23日、5月14日

いずれも火曜日

10:00~11:30

対象 40歳以上 一般

定員 30名

申込み 3月6日(水)



スポーツ吹矢(全3回)
4月13日、20日、27日

いずれも土曜日

10:00~12:00

対象 一般

定員 25名

申込み 3月16日(土)

費用 500円(1回につき)

フラワーセラピー

リース作り

4月19日(金) 13:30~15:00

対象 一般

定員 15名

申込み 3月22日(金)

費用 1300円(材料費)



子どもの広場

プラ板でストラップを作ろう

4月20日(土) 10:00~11:30

対象 5歳~小学生

定員 当日先着30名

リボンでブローチや

髪飾りを作ろう

5月18日(土) 10:00~11:30

対象 3年生以上の小学生

定員 当日先着20名



健康レストラン

忙しい朝でもすぐできる

愛情たっぷり手作り弁当

5月15日(水) 9:30~14:00

対象 一般

定員 18名

申込み 4月2日(火)



横浜散策

5月に実施予定

*詳細未定



嬉多國―全国大会で優勝!

平成24年10月19日(金)〜21日(日)に日本武道館で行われた「第52回郷土民謡民舞全国大会」で、当公民館利用サークル『嬉多國(きたくに)』が、合奏の部門で見事優勝しました。これまで準優勝は4回あるものの、優勝は初めて。快挙、おめでとうございます。

津軽三味線サークル『嬉多國』は民謡ブームの昭和53年に、菊池杜支朗(としろう)さんを先生に迎えて、3人でスタート。



→ 武道館の大舞台で見事優勝!
↓ 菊池さんの指導で、今日も練習、練習。

菊池さんはNHKに出演したり、外務省の文化交流基金の海外公演で、25か国に派遣されたりと活躍されている方です。

平成14年から、当公民館で月3回 火曜日の午後5時〜9時まで、東北を中心に日本全国の民謡を練習、習得しています。

公民館まつりやニューイヤークンサートには毎回出演、東日本大震災のチャリティー公演も3回行っています。日本武道館で催される「郷土民謡民舞全国大会」の合奏部門には、これまで7回出場。

今回の優勝曲目は、オリジナルの『津軽じょんがら節(宴)(うたげ)』。3日間の大会は独唱・民謡踊り・合唱・合奏の4部門があり、合奏の7〜15人の部門(持ち時間は3分間)に出場、栄冠を手に入れました。



『嬉多國』では、現在会員を募集中です。問い合わせは、宮坂妙子さん(電話0467-542175)まで。

公運審だより

つい先日アメリカ映画のDVDを観ました。偶然ですが、そのストーリーは、公民館を壊して都市を再開発しようとする青年実業家と、それに反対する女性弁護士とのラブコメディでした。

映画の中の女性弁護士は、「公民館は、赤の他人を隣人に変え、子どもたちには、彼らが地域の欠かせない一員であることを教える大切ものです」と言っていました。

さて、私は今年度、公民館運営審議会委員一員に加えさせていただきました。

公民館は、地区の組織の会議やサークルの活動のために場所を提供する事がメインで、その合間に自主事業を行うと思っていますが、必ずしもそうではないようです。少しずつではあります。公民館のあり方を勉強し、審議会委員の努めを果たしていきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

ちなみに、ラブコメディの結末は、公民館を存続させるためにふたりで力を合わせることで、恋は成就したようです。

運営審議会委員

富田 久徳

利用懇だより

『パソコン教室』で、公民館を利用させていただくようになって6年程になります。これまではずつりの自転車整理くらいしかお手伝いしたことがなかったのですが、今回初めて利用者懇談会世話人会の一員として、館の運営について知る機会を得ました。

コミセンや青少年会館などの公施設も利用していますが、鶴嶺公民館ほど利用者との密接に結びつき、協力して運営を行っているところはないと思います。

利用者懇談会では、各サークル代表者から、館への要望ばかりではなく、地域との関わりや地元の子どもの育成に関してまで活発な意見の交換がされます。また、『夏休み小学生サークル体験』を中学生にまで広げる方法はないかなど、常に前向きな姿勢で取り組みられています。今回参加したことで、これまで私たちが気持ちよく館を利用できたのも、職員や役員の方々の努力の積み重ねのおかげであると痛感しました。

これからも、まつり、草取りなど、利用者の一員として積極的に参加していこうと思います。

利用者懇談会世話人

諸本 順子

公民館のマスコット誕生!



鶴嶺公民館開館30周年を記念

して、利用者の皆様に公募して
おりました鶴嶺公民館のマスコット
キャラクターに、多数の応募があ
り、投票の結果、1点に絞りきれ
ず、2点の採用となりました。名
前は、『つるたろう』と『つるみち
ちゃん』です。

この2人は今後、公民館だより
「つるみね」や30周年記念誌、公
民館の刊行物に利用させていただ
くこととなります。よろしくお願
いします。作品を応募してくれた
皆さん、そしてキャラクター
名を考えてくれた皆さん、
ありがとうございます。

よろしく
お願いします!

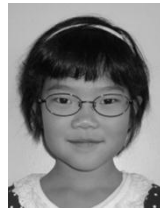


つるたろう&つるみちゃん



『つるみね 85号』にいきなりの登場でおどろ
かせてゴメン! 今回はワンパターンのみのお
ひろめだけど、徐々に彼らのプロフィール
や色々な表情を出していく予定です。楽しみに
しててくださいね。

つるみちゃん 作者プロフィール



萩園在住・小学校3年生の女の子
「自分の作品が
選ばれてびっく
りしました。公
民館に来ていた
お母さんがマス

コットキャラクターの募集をして
いることを知り、応募してみたら
と勧められたので、朝、宿題をす
ませてから、3時間でつるみちや
んを描きました。つるみねなので
ツルをイメージしています。頭の
部分にも「つ」のマークがついて
いますよ。学校でも絵が得意です。
つるみちゃんをかわいがってね!

つるたろう 作者プロフィール

萩園在住・シヤイな30代の男性

「鶴嶺といえば、やはり鶴嶺八幡
宮なので、その創祀者である平安
中期の武将、八幡太郎義家(源義
家)をイメージしました。3尾の
鯉は、小出川の「こい」にもか
けていますし、武将の甲から端午の
節句の鯉のぼりつながりでもあ
りますが、詳しいことはまだい
えない……。お楽しみに!



屋上のフェンス工事終了

利用者の皆様や近隣の方々に、
騒音等のご迷惑をおかけしていま
した屋上の防音フェンス工事が、
昨年末に終了しました。ご理解・
ご協力ありがとうございました。

このフェンスは、空調機器の使
用時に出る音が外部に漏れないよ
うにまわりを囲うためのもので
す。今後とも、皆様にとってさら
に使いやすい公民館にしてい
くために、施設の整備に努めてまい
ります。

紙面作りにご協力ください

●原稿募集

- 詩・短歌・俳句・川柳・ミニエッセイ・
絵手紙・書道・写真・イラストなど、
作品を公民館までお寄せください。
- テーマは自由ですが、公序良俗に反す
るもの、公民館だよりにふさわしくな
いものは掲載できません。
- 応募作品の返却はできません。
- 文章はスペース等の関係上等で、手
入れさせていただく場合があります。
- モニター募集(小学校3年生)
○「つるみね」に対する様々なご意見を
お聞かせください。

編集後記



*野島先生の記念講演を担当しまし
た。「広報」することも社会還元の一
つとのこと。より広く読んでいただ
けるように、分かり易い紙面作りを
目指したいと思います。(初)

*公民館が出来る前、『子ども』のしあ
わせ読書会を、メンバーの家を持ち
回りで行っていました。その頃の子供
たちの年齢が、当時の私たちの年齢を
超えました。いやでも年月を感じさせ
られます。(寿)

*このたよりに携わって、ちょうど
15年になりました。地域のことを少
しでも知ってほしいと思って微力な
がらがんばっています。(京)

*今回は公民館まつりを特集しまし
た。この3日間の盛大なイベントへの
皆さんの積極的なご参加をお待ちし
ております。(星)

*この『つるみね』と並行して、公民
館の周30周年記念誌の編集作業を進め
ています。公民館の歴史は、地域の歴
史です。大切にしたいですね。(惇)